

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ <http://www.kenpoukaigi.gr.jp> FAX03-3261-5453

2021年10月7日(木)
NO. 1210号
本号3頁

声明

**安倍・菅政治継承の岸田政権では国民のいのちと健康と暮らし、生業は守れません。
市民と野党の共闘の力で、総選挙で憲法を生かす政権を!**

10月4日の臨時国会で自民党の岸田文雄氏が第100代首相に選出されました。

岸田氏は9月29日投開票で行われた自民党総裁選で、憲法改正については安倍政権で策定した自衛隊の明記や緊急事態条項新設など改憲4項目について、「どれも現代的な意味で重要な改正だ。自衛隊の明記は、違憲論争に終止符を打つ大変重要な課題だ。総裁在任中に改憲の実現をめざす」と改憲推進を掲げました。

外交では、「台湾海峡の安定、香港の民主主義はその試金石だ」と強調、「自由で開かれたインド太平洋構想」の継承を宣言。安全保障では、敵基地攻撃能力保有について「有力な選択肢だ」と語り、議論を進める考えを示しました。また、経済政策では、安倍政権下で始まった大規模な金融緩和と巨額の財政支出、成長戦略の3本柱を維持する考えを示しました。

さらに、原発再稼働や大軍拡の推進をかかげ、コロナ対策では菅政権同様、検査の抜本的拡大は実行せず、原則自宅療養の方針も撤回せず、相変わらず無為無策の対応を続けようとしています。一方で選択制夫婦別姓実現は先送りし、日本学術会議会員の任命拒否は撤回せず、さらに国政私物化疑惑究明には背を向けています。

このように岸田政権は、掲げたどの政策を見ても明らかなように、憲法をないがしろにしてきた安倍・菅政治の継承そのものです。

そして、今回の自民党総裁選では、安倍晋三氏がキングメーカーと言われるような影響力が示しました。岸田氏は「桜を見る会」前夜の夕食会を巡る疑惑に関し、「安倍氏自身による説明が重要だ」と語っていましたが、総裁選中に「再調査は必要ない」と事実上撤回してしまったほか、「3A」の人物を副総裁・幹事長にする自民党役員人事でも明らかなように、「安倍傀儡(かいらい)政権」の様相を呈しています。

首相になるために安倍・菅政治の継承を選択した岸田新首相では、コロナ危機で浮き彫りになった政治の行き詰まりを打開することはできません。国民の願う政治は実現しないことは明らかです。

9月8日の市民連合と4野党の6柱20項目の政策合意で総選挙をたたかう旗印が立ち、立憲民主党と共産党は政権交代が実現した場合に共産党が「限定的な閣外協力」を行うとの方針で合意するなど野党間での政権協力に向けた具体的な協議も進んでいます。さらに、各地で野党統一候補も決まって来ています。こうした動きのなかで、首班指名選挙では、4野党が枝野氏に投票しました。

今必要なことは、市民と野党の共闘で政権交代に本格的に挑戦する初めての総選挙で、自・公・維新に鉄槌を下して勝利し、新たな政権を誕生させ、国民のいのちと健康と暮らし、生業を守る政治、憲法を守り生かす新しい政治を実現することです。

総選挙勝利に向け、全力で奮闘し合いましょう。

2021年10月4日
憲法会議 (憲法改悪阻止各界連絡会議)

総がかり行動実行委員会「臨時国会開会日行動」を開催

岸田首相に変わっても政治は変わらない！

市民と野党の共闘で新しい政権の実現を！

総がかり行動実行委員会は4日昼、国会議員会館前で「臨時国会開会日行動」を開催。300人が参加し、「菅首相から岸田首相に代わっても、安倍・菅政治継承の政治では私たちのいのちや暮らし・生業を守ることはできません。総選挙で勝利し、政治を変えよう」と訴えました。

戦争をさせない1000人委員会の竹内広人さんが主催者あいさつ。「コロナが感染拡大する中で東京五輪・パラを強行し、感染者を拡大させた人災とも言うべき失政は、首相が辞めたからといって免罪されるわけではない。総選挙で政治を変えないといけない。市民連合と野党4党の政策合意でもう一つの選択肢が示された。総選挙で勝利するためにもにたかおう」と呼びかけました。

日本共産党の志位和夫委員長衆議院議員、社会民主党の福島瑞穂党首、立憲民主党の近藤昭一衆議院議員、沖縄の風の伊波洋一参議院議員があいさつ。多くの同党の議員と参加した共産党の志位氏は、市民連合と4野党が共通政策を結び、共産党と立憲民主党が政権協力で合意したことを報告。「行き詰った自民党政治の中で政権をたらい回しにしても政治は変わりません。政治を変えるために、この二つの合意を力に、政権交代を実現しよう」と呼びかけました。

市民の訴えでは3人が発言。市民連合の山口二郎法政大学教授は、自民党は腐敗堕落している。野党はまとまってもう1つの選択肢を示すことができた。これは市民の強い後押しがあったからだ。みんなの力で、総選挙で政権交代するためがんばっていこう」と訴えました。

反貧困ネットワークの瀬戸大作事務局長は、「コロナ禍で700人以上の困窮者を支援してきた。20・30歳代の困窮者の度合いが増えており、福祉は助けてくれないと言っている。彼らのような人たちが前を向いて歩いていけるようにするためにも、総選挙で与党をひっくり返すことが必要」と話しました。

法律家6団体連絡会の大江京子弁護士は、菅首相を「日本学術会議会員の任命拒否では意に沿わない人を排除し、モリ・カケ・桜問題では解明に背をむけ真相にフタをしようとした。コロナでは入院・治療が受けられない究極の『自助』という政策を実施した」と痛烈に批判。「憲法違反、法律違反、説明しない、人のいのちを何とも思わない、安倍・菅政治を終わらせよう。憲法に基づく政治を実現しよう」と訴えました。

総がかり行動実行委員会共同代表の高田健氏が行動提起を行い、「総選挙の日程については10月19日公示、31日投開票との報道がされている。歴史的なたたかいで政権交代を勝ち取ろう」と呼びかけ、当面の行動について提起しました。



岸田内閣、「ご祝儀相場」には遠い低調な船出 支持率 45%(朝日)

10月4、5日に、朝日、毎日、読売各社が世論調査を行い、岸田内閣の支持率を報じています。

<朝日新聞>岸田内閣支持率 45% 麻生内閣の48%を下回り、最低

◇内閣支持率は45%、不支持率は20%。発足直後の支持率としては、2001年の小泉内閣以降で、麻生内閣の48%を下回り、最低となった。1年前の菅内閣発足時の65%には及ばず、新政権発足後にしばしば生じる「ご祝儀相場」には遠い。

しかし、不支持率は高いわけではなく、「その他・答えない」が35%で、支持・不支持の態度を明確にしない人が3分の1を超えているのが大きな特徴。最多の野田内閣発足時29%より多かった。◇衆院選の比例区投票先。「仮に今、投票するとしたら」に、自民は41%、立憲の13%を引き離れた。自民は5~8月は35%前後だったが、総裁選の動きが活発化した9月中旬では43%に復調。勢いはやや弱まったものの、無党派層の投票先をみると、自民の22%が立憲の13%を上回っている。

◇岸田内閣を支持する人にその理由を4択で聞くと、「他よりよさそう」が45%と最多で、「自民党中央の内閣」21%、「政策の面」18%と続き、「首相が岸田さん」は13%。これは1年前の「首相が菅さん」の23%と比べて少ない。

◇岸田首相は総裁に選出された時、「生まれ変わった自民党を国民に示さなければならない」と発言した。新内閣や党役員の顔ぶれをみて「生まれ変わった自民党」を「実現できる」と思うと答えた人は24%で、「実現できない」が54%を占めた。内閣支持層でも「実現できる」「実現できない」がともに41%で並んだ。

岸田首相は、安倍政権や菅政権の路線を「引き継ぐ方がよい」と答えた人は23%で、「引き継がない方がよい」は55%。自民支持層に限っても「引き継がない方がよい」がほぼ5割を占めた。

＜毎日新聞＞ 岸田内閣の支持率49% 麻生内閣発足時に次ぐ低さ

◇内閣支持率は49%と5割に届かず、不支持率は40%。閣僚の顔ぶれに「期待感が持てる」との回答は21%で、「持てない」が51%に上った。首相への期待から高めに出る傾向があるが、歴代内閣の発足時と比べ低調な船出と言えそうだ。過去20年間では麻生太郎内閣発足時（2008年9月）の45%に次ぐ低さとなった。

◇岸田内閣を支持すると答えた人の理由。「首相の人柄に好感が持てるから」27%、「政策に期待が持てそうだから」25%、「自民、公明の連立内閣だから」18%などとなった。支持しない理由では「政治が変わりそうにないから」が58%を占め、「政策に期待が持てそうにないから」が20%。

◇自民党幹事長に麻生派の甘利明氏を起用した人事について。「評価しない」が54%、「評価する」は22%。安倍、麻生両氏の影響力が強まったと言われていることについては、岸田首相の政権運営に「マイナスになる」と思う人が59%、「プラスになる」の23%を大きく上回った。

＜読売新聞＞ なぜか同日の調査でこんなにも違うの?? 岸田内閣の支持56%

◇岸田内閣の支持率は56%。菅内閣発足時の74%には及ばなかった。不支持率は27%でした。岸田内閣の閣僚20人のうち初入閣が13人となったことについては、「評価する」61%が「評価しない」23%を上回った。岸田首相は、内閣や自民党役員人事で、ベテラン、中堅、若手の「老壮青」のバランスを重視したことを「評価する」との回答は64%に上り「評価しない」は24%だった。◇党幹事長に甘利明氏が起用されたことについては「評価する」が30%、「評価しない」は48%。自民支持層でも「評価する」は41%と半数を下回った。

※同日の世論調査で、岸田内閣の支持率は朝日、毎日が45、49%に対して、読売は56%。どうしてこんなに違うのでしょうか。世論調査で「世論誘導」しているのかと思えてしまいます。

各地のとくくみ

国会前 政権交代で根本変えよう! 「アベ政治を許さない」国会前スタンディング

毎月行われている「アベ政治を許さない」のプラカードを掲げるスタンディング行動が3日、国会前で行われ、スタンディングを呼びかけた作家の澤地久枝さんら130人が参加しました。自民党総裁選で岸田文雄氏が選出されてから初めてで、政権交代を求めるムシロ旗など、手書きのボードで思いを表現しました。

韓国籍で選挙権はない金ウルフさん（ツイッターネーム・50）は自民党総裁選後の党内人事を見て、「相変わらずの身内配慮。自民党ばかり報道して野党の報道が少ない。自民党では国民の生活がよくなるので、政権交代で根本的に変えてほしい」と話しました。都内女性（67）は、「一人ひとりを大切にしない政治がコロナで明らかになった。政権が倒れたので、やっと政治の流れを変えられるかな。コロナ収束のために与野党を超えて国民本位の政治をしてほしい」と話しました。

作家の落合恵子さんがスピーチし、岸田総裁への交代について「表紙は替わっても中身が変わらないものを読ませられるのはごめんです。総選挙では野党共闘を」と訴えました。エッセイストの渡辺一枝さんは「転がる岩の前に砂利を敷けば岩はくずれる。砂利の一粒一粒になりましょう」と訴えました。